

常民文化研究

第3巻
第1号

2024

- 三陸沿岸における天明四年正月二日のアカウオ漁船の
海難伝承
..... 小野寺 佑紀 1
- 正月飾りの絵と図像資料
——群馬県多野郡上野村と養蚕改良高山社を中心に——
..... 鈴木 英恵 17
- 【調査活動報告】**
- 奥能登「時國家文書」の世界
——三二年ぶりに再会して——
..... 泉 雅博 43
- 「常民古文書」の発見と出版
..... 窪田 涼子 81
- 【資料紹介】**
- 吉田三郎『我田引水』（第七章～第九章）
..... 今井 雅之 109
- 第一次東南アジア稲作民族文化総合調査（1957～58年）
に関連する民族学振興会資料について
——「調査日程」と「採集品目録」——
..... 高城 玲 186(i)
- 【特別寄稿】**
- 神奈川大学日本常民文化研究所史異聞（2）
——「失敗史は書けぬものか」の意味を探って——
..... 橘川 俊忠 133



Passing Down the Lesson of the Casualty of a Redfish Fishing Boat
on January 2, 1784 (Temmei 4)

ONODERA Yuki

Pictures and Iconographic Materials of New Year's Decorations:
Focusing on Ueno Village, Tano County, Gunma Prefecture
and the Sericultural Improvement of Takayama Company

SUZUKI Hanae

【Research Reports】

The World of the Oku-Noto "Tokikuni Family Documents":
Reunited after 32 years

IZUMI Masahiro

Discovery and Publication of *JOMINKOMONJO* (Old Documents
of Common People)

KUBOTA Ryoko

【Research Materials】

Gadeninsui by Yoshida Saburo, Chapters 7-9

IMAI Masayuki

On the Documents of Shibusawa Foundation for Ethnological Studies
(Minzokugaku Shinkokai) Related to "the First Synthetic Research
of the Culture of Rice-cultivating Peoples
in Southeast Asian Countries (1957-58)":
"Daily Research Record" and "Catalog of Collected Items"

TAKAGI Ryo

【Special Reports】

Another History of The Institute for the Study of
Japanese Folk Culture, Kanagawa University, Part 2:
To Understand Keizo's Words "Can One Write a History of Failures?"

KITSUKAWA Toshitada

Jomin Bunka Kenkyu: Bulletin of Institute for the Study of Japanese Folk Culture Volume 3 (1), 2024

Institute for the Study of Japanese Folk Culture,
Kanagawa University
3-27-1 Rokkakubashi, Kanagawa-ku, Yokohama,
Kanagawa 221-8686 JAPAN
Email: jomin-office@kanagawa-u.ac.jp
Tel: +81-(0)45-481-5661

ISSN2758-5026

●執筆者（掲載順）

小野寺 佑紀〈特別研究員〉
鈴木 英恵〈特別研究員〉
泉 雅博〈客員研究員〉
窪田 涼子〈職員（学芸員）〉
今井 雅之〈東北歴史博物館〉
橘川 俊忠〈客員研究員〉
高城 玲〈所員〉

●編集委員

大川 啓 姜 明采 泉水 英計（編集長）
安室 知 吉澤 達也

●編集後記

編集も3年目に入り少しは作業にも慣れたのだろうか、年内に刊行できた。小野寺氏、鈴木氏のオリジナルな調査にもとづいた論文2本が巻頭を飾る。漁村史と非文字研究というのは常民研らしい。不幸にして2024年は能登半島地震の年として永く記憶されるだろう。時国家文書の研究を通じて常民研は能登に深い縁がある。この縁を再考した泉報告は時宜を得たものだ。奥能登の生産性の低さは停滞や後進を意味するのかという鋭い問い返しは、窪田報告の、アチックにとって出版とは何であったかという振り返りと合わせて所員みなが共有すべきである。一方、高城記事は、常民研のもうひとつの柱である文化人類学関連の資料紹介。今井氏と橘川氏の連載も好調で次巻に続く。なお、第3巻第1号としたのは第2号を予定しているから。年度内刊行を目指し鋭意すすめたい。

常民文化研究 第3巻 第1号（2024）

発行 2024年12月20日

編集・発行 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

電話 045(481)5661（代表）

<http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/>

制作 株式会社 BE-million

印刷 株式会社 精興社

装幀 橘川幹子

ISSN2758-5026

*著作権者の文書による許諾がないかぎり、法律が認める場合を除き、本書の全部もしくは一部を複製すること、あるいは送信公開することを禁じます。